学会長あいさつ

第66回 日本医学検査学会 in ちば
Vision－夢・創造－
臨床検査の更なる進化と多様性を求めて

第66回日本医学検査学会
学会長　梅宮　敏文
（国際医療福祉大学成田保健医療学部）

近年，医療は凄まじい速さで日々進歩しています．臨床検査技師の業務にも様々な変化を感じています．先の検査技師法改定に伴い，日臨技は「検査説明」「検体採取」「病棟業務」などの普及啓発事業を推進しております．このような，臨床検査技師を取り巻く環境の変化に，私たち臨床検査技師は目的を掲げて素早く対応出来ているのでしょうか？また，それに加えて，医療提供体制の再構築が進められており，私たち臨床検査技師は己の役割を明確に示し，進むべき道を見極めることが大切となってきています．

この学会は，新しい検査技術や検査業務の在り方，業務拡大の可能性など各分野において目指すべき臨床検査技師の未来像を考え創造するような，私たち臨床検査技師の将来へのVisionを語り合う場にしたいと考えております．このような視点から，今回の学会のメインテーマは「Vision－夢・創造－」，サブテーマを「臨床検査の更なる進化と多様性を求めて」といたしました．

公開講演は，作家で医師の海堂 尊先生とスポーツジャーナリストの増田明美さんにお願いいたしました．海堂 尊先生には「医療と文学の未来－私のVision－」，増田明美さんには「自分という人生の長距離ランナー」をテーマにご講演をいただきます．海堂 尊先生は，テレビドラマや映画化された「チームバチスタの栄光」の原作者であり，お二方とも千葉県出身者です．特別講演は，国際医療福祉大学名誉学長の北島政樹先生に，「低侵襲・個別化がん治療の展開－医工・産学連携を基盤とした日本の匠－」について，教育講演は，NPO法人「小象の会」理事長の篠宮正樹先生に「想像力と『知る』ワクチン－自尊感情を育てて生活習慣病を予防する」を，文化講演は，米国NGO，DiversityRx エグゼクティブディレクター ”Resources for Cross Cultural Health Care”常任理事のJulia Puebla Fortierさんに「LOST WITHOUT TRANSLATION－日本の病院で悪戦苦闘する外国人たち－」，大阪大学大学院人間科学部研究科教授の中村安秀先生には「外国人の診療と医療通訳士の育成－外国人が安心して受診できる病院をめざして－」をテーマにご講演いただきます．

学会内容は，特別演題30分野71演題，一般演題568演題，国際学生フォーラム，ランチョンセミナー20社，スイーツセミナー 6社と多数の企画を準備いたしました．企業展示は82社，国際展示場2ホールを展示会場として，ゆったりと機器・試薬展示をご覧いただけます．学会懇親会は千産千消（地産地消）の郷土色豊かなメニューを企画しておりますので，多くの方との交流の場となれば幸いです．

結びとなりますが，本学会に多大なご理解，ご協力をいただきました関係各位の皆様に深く感謝申し上げます．